

講義レポート



平良奈津恵

さらに金型についてもお話してくださいました。

沖繩のものづくりについての講義。金城先生は、沖繩の製造業の現状と必要性について話してくださいました。

全国に比べて沖繩は、第二次産業の割合が低いということ

（わたしは、なんとなく、身の回りに製造業が少ないのは感じていましたがそれは需要がないからだとなんとなく勘違いしていました。）

・それゆえに、ものを作ることに、他県に依存していること・また、製造業が少ない地域は所得が少なかつたり、有効求人倍率が低いということ

沖繩には工業系の高校が9校もあって、製造業的な優秀な人材が、沢山いるはず！もったいない！

金型とは、ものを生産していくうえでのコア（中核）技術である。なので製品の善し悪しは金型で決まる。まとめとして沖繩のものづくりについては、金城先生は沖繩にはユニークな発想をする人が多いので、ものづくりに向いていました。例↓デザインマンホール（西原にある企業が初）また、物流の面でも、香港や台湾など、アジアの主要な年と近く、便利なはずである。講義を終えて。少しマニアックな内容のように感じましたが、皆の感想から、「わくわくした」という言葉が多く聞かれました。話を聞いただけでしたが、

想像しただけでわくわくするらしい。生産行為というのは、気持ちも前向きにしてくれるのかなと思います。それと、個人的な感想で、どの講義の内容にも言えることなのですが、沖繩のことについて、知らないどころか、思い込みや勘違いがたくさんあるように思いました。

沖繩のいろんなこと、思い込みや勘違いではなく、偏った見方でもなく、いろんな方向からじっくり知って考えていきたいし、何か行動できる県民になりたいと思えました。



【報告】 八日に島マス先生の二十五回忌があり、二十期代表三名と事務局で行ってきました。

